



## 平成28年9月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

## ① 売上高・前年同月比

|       | 全 店           |               |                 | 既 存 店         |                 |
|-------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
|       | 売上高           | 構成比(前月)       | 前年同月比(前月)       | 売上高           | 前年同月比(前月)       |
| 総 額   | 54,026,422 万円 | 100.0%        | 100.9% (101.0%) | 51,786,482 万円 | 99.0% (99.1%)   |
| 食 料 品 | 46,382,614 万円 | 85.9% (85.6%) | 101.5% (101.7%) | 44,580,760 万円 | 99.3% (99.3%)   |
| 農 産   | 7,382,110 万円  | 13.7% (13.1%) | 99.9% (100.2%)  | 7,092,826 万円  | 97.7% (97.9%)   |
| 水 産   | 4,330,679 万円  | 8.0% (7.9%)   | 99.4% (99.4%)   | 4,161,021 万円  | 97.3% (97.1%)   |
| 畜 産   | 5,628,842 万円  | 10.5% (10.0%) | 100.5% (101.4%) | 5,393,360 万円  | 97.9% (98.8%)   |
| 惣 菜   | 5,417,443 万円  | 10.0% (10.5%) | 102.7% (101.8%) | 5,182,854 万円  | 100.0% (98.9%)  |
| 日配食品  | 10,532,842 万円 | 19.5% (19.0%) | 102.8% (103.1%) | 10,136,967 万円 | 100.7% (100.9%) |
| 加工食品  | 13,090,697 万円 | 24.2% (25.1%) | 102.1% (102.2%) | 12,613,731 万円 | 100.2% (100.1%) |
| 生活関連  | 3,351,036 万円  | 6.2% (6.4%)   | 98.8% (100.0%)  | 3,252,007 万円  | 98.2% (99.5%)   |
| 衣 料 品 | 1,422,961 万円  | 2.6% (2.6%)   | 96.3% (94.3%)   | 1,350,614 万円  | 96.8% (96.0%)   |
| そ の 他 | 2,869,811 万円  | 5.3% (5.4%)   | 97.0% (95.5%)   | 2,603,101 万円  | 96.5% (96.2%)   |

## ② 数 値

|        |                            |       |           |
|--------|----------------------------|-------|-----------|
| 全店総売上高 | 54,026,422 万円              | 店 舗 数 | 4,649 店舗  |
| 総売場面積  | 9,164,345.0 m <sup>2</sup> | 総従業員数 | 252,615 人 |

|                         |                   |                  |                        |
|-------------------------|-------------------|------------------|------------------------|
| 店舗平均月商                  | 11,621.1 万円       | 平均客単価<br>(前年同月比) | 1,839.0 円 (99.7%)      |
| 月間m <sup>2</sup> 売上(前月) | 5.9 万円 (6.3 万円)   | 平均店舗面積           | 1,971.3 m <sup>2</sup> |
| 月間坪売上(前月)               | 19.5 万円 (21.0 万円) | パート比率(前月)        | 77.9% (78.2%)          |

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

## 《 全体概況 》

- ・ 9月の天候は、前線の停滞や台風がたびたび接近・上陸したことにより、東日本以西で曇りや雨の日が多く、月間日照時間がかなり少なかった。気温は全国的に平年より高く、彼岸を過ぎても厳しい残暑の地域があった
- ・ 台風の上陸や雨天により、客数の減少への影響があったというコメントが多く見られた
- ・ 野菜の相場状況は、全体では安値傾向であったが、台風の影響などで根菜類が高値で推移したほか、天候不順・日照不足の影響により葉物、果菜類等の品目で月後半にかけて相場上昇が見られた
- ・ 牛肉の相場状況は、和牛が引き続き高値で推移した

## 《 商品動向 》

### ○ 農産

- ・ 昨年より高値相場で推移しているたまねぎ、じゃがいも、にんじんなどが販売単価の上昇により、売上を伸ばした
- ・ 気温の影響により、薬味商材が好調であった一方、きのこ類などの鍋物商材の動きが鈍かった
- ・ 果実は、入荷が順調であった梨、ぶどうが好調であった一方、りんごが不調であった。輸入果実では、キウイフルーツが好調を継続している一方、バナナは入荷状況が回復せず不調とのコメントが多かった

### ○ 水産

- ・ 旬魚では、生さんまが概ね不調であった。台風などの影響による漁獲量不足で入荷が不安定だったほか、販売の主体が小型サイズとなり単価減少の影響があった。生秋鮭は好不調が分かれる結果であった
- ・ 台風の影響により近海魚の入荷が少なく売上減への影響を与えた

### ○ 畜産

- ・ 牛肉は、相場が依然として高い和牛の販売環境が厳しいため、交雑種や輸入牛を販売強化している事例が多く、概ね好調であった
- ・ ひき肉が好調を維持している一方、豚肉が不調とのコメントが多かった
- ・ 気温が高かったため、焼肉、ステーキなどの焼きメニューが好調であった一方、牛肉・豚肉の薄切り肉、切り落としなどが低調であった

### ○ 惣菜

- ・ 季節素材を使った商品の取り組みが多く、さんま関連、カキフライなどで売上を伸ばした事例が見られた
- ・ 弁当が順調な動向を示した。行楽、運動会などの需要を取り込めたこと、季節のおかずを取り入れた成功事例などが寄与している
- ・ 麺商品は、気温の要因により涼味麺の販売が好調であった一方、ホット麺は不調であった

○ 日配・加工食品

- ・ 気温が高かった影響を受け、飲料、乾麺、アイスクリームなどの涼味商材が好調であった一方、おでん・鍋物商材、シチュー、スープなどのホットメニューの動きは鈍かった
- ・ 米は新米価格が昨年より高くなったため、販売単価の上昇により売上が好調であった
- ・ 健康志向のニーズとなっている商品は引き続き好調で、ヨーグルト、麦、飲用酢などの売上伸長が続いている
- ・ 野菜の相場の高騰を受けて、冷凍野菜や野菜飲料に需要の拡大が見られる

「秋彼岸、敬老の日」の状況について

- ・ 「敬老の日」は、ごちそうメニューの寿司や和・洋菓子の取り組みが多く、概ね好調であった
- ・ 「秋彼岸」は、昨年より休日が分散した事と台風の影響があった地域もあり、おはぎ、切り花などの主力の商品で、昨年を下回る結果が多かった

以 上